

●学校の部屋

お問い合わせは教育委員会 ☎ 64・4343



▲親子ふれあいオリエンテーリングの様子

安八の魅力を再発見

名森小学校

5月27日(日)名森小学校の全校児童と保護者(約960人)が、学校周辺地域において、親子ふれあいオリエンテーリングを行いました。

親子でふるさと安八の町を歩き、郷土のことを知ると共に親子のふれあいと体力づくりを目的として開催されました。

当日は、地図を持って、親子で自由にチェックポイントを回り、書いてあるクイズを解いたり、多くの人とふれあいながら楽しい時を過ごしていました。

たくさんの収穫を願って

牧小学校

6月6日(水)牧小学校の全校児童(85人)が、学校農園でさつまいも苗を植えました。

この事業は、特色ある学校づくりの一環として、高齢者の方々とのかかわりを中心とした福祉交流活動に、学校ぐるみで取り組んでいるものです。

また、秋には収穫されたさつまいもを使って「おにまん」を作り、地域のお年寄りの方や農園等でお世話になっている方々に配る予定です。



▲さつまいもの苗を植える牧小学校の児童たち

米づくりに学ぼう

結小学校

6月11日(月)結小学校近くの水田通称「おおすび園」で5年生(67人)が田植えを行いました。

これは、総合的な学習の時間に「米づくりに学ぼう」をテーマとして、田植えから収穫までを行うことで、毎日食べるお米のを知るとともに、収穫の喜びを得ることを目的に、毎年実施されています。

多くの児童は、田植えをすることが初めてで、慣れない手つきながらも、地域の方に教わりながら、一生懸命苗を植えていました。



▲田植えをする結小学校5年生の児童たち

それぞれの研修で学んだこと

東安中学校

東安中学校では、1年生が「郡上研修(5月22日～23日)」、2年生が「神子研修(5月30日～6月1日)」、3年生が「修学旅行(6月6日～8日)」と、それぞれの研修を実施しました。

郡上研修では環境問題を学習し、神子研修では漁港見学・自然体験をし、修学旅行では政治・経済の中心を見学といった多彩な活動を通し、改めて自分と自分の住む故郷について考える機会となりました。



▲郡上研修で環境問題の学習に取り組む様子